

「人間重視の道路創造研究会」開催要綱

1. 設置目的

地球温暖化問題への対処は人類共通の重要課題であり、地球環境と共生する低炭素社会構築のために環境負荷の少ない都市構造への転換が必要となっている。一方で、少子高齢化に伴う人口減少社会を乗り切るためには、国民全員が参画した持続的な経済成長が不可欠であり、にぎわい形成等による地域の活性化とともに、高齢者等に優しい安心・安全・円滑な移動の確保が求められている。

これらを背景に道路に関する国民のニーズは多様化しており、それに対応して道路空間の利用形態や整備方策を見直すことが求められている。すなわち、道路空間を自動車本位から人間本位へ転換するために、①歩行者・自転車にとって使いやすい道路空間の充実、②路面電車・バス等の公共交通への道路空間の提供、③交通機能のみならずアメニティ性の高い公共空間としての道路機能の向上（道路空間と沿道空間を一体的に捉えた地域公共空間機能の発揮）、といった道路利用形態の多様化を図る必要がある。その際、これまで「つくる」ことを主眼に整備・蓄積されてきた道路ストックを「上手に使う」観点から、既存の道路空間を再配分・有効活用するための方策を検討するとともに、地方公共団体・企業・地域住民など多様な主体の活動の誘導・促進方策を検討する必要がある。

以上を踏まえ、道路利活用ルールを再点検するとともに、道路空間における多様な主体の活動を促進する方策等について調査検討することを目的として、本研究会を設置するものである。

2. 構成員

別添のとおり

3. 設置期間

1年程度を想定

4. 庶務

研究会の庶務は、道路局路政課において処理する。

「人間重視の道路創造研究会」委員名簿

委員長	磯部	力	立教大学法学部教授
委員	太田	和博	専修大学商学部教授
委員	小幡	純子	上智大学大学院法学研究科教授
委員	屋井	鉄雄	東京工業大学大学院総合理工学研究科教授
委員	米田	秀男	東京都建設局道路保全担当部長

(五十音順・敬称略)